



# 輝くあさひ

第54号

発行 朝陽地区住民自治協議会  
会長 栗原 満  
編集 広報部会  
印刷 株式会社双真



運動公園の紅梅(撮影・竹内歳一・南堀)



令和2年度住自協会長 栗原 満

新年あけましておめでとうございます。朝陽地区の皆様には令和3年の新春を晴々しいお気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、経験したことのない新型コロナウイルス感染症に振り回され、住自協の活動も3密を避けるため、参加人数を絞り、時間を短縮するなどして開催しましたが、一部の行事や活動については、やむなく延期又は中止させていただきました。

令和2年度の重点目標の一つ「総合市民センターの早期建設」につきましては、11月6日に加藤市長を朝陽支所にお迎えし、「朝陽地区ながの未来トーク」を開催し、現在3か所に分かれている朝陽支所、朝陽公民館、駐車場を1か所にまとめ総合市民センターとして5年内の整備を要望しました。

回答は、「『公共施設個別施設計画』の計画期間内(令和3年度から10年間)に建設を進められるよう、地区とは継続して協議をしていきたい。」でありました。今後、住自協の活動の中で議論を深めたいと考えています。

また、防災・福祉に強いまちづくりを目指した「支え合いのマップ」作りにつきましては、各区のご協力を得て更に進めてまいりたいと思っています。

現時点では、新型コロナウイルスの終息が見通せない状況ではありますが、感染予防対策をしっかりととりながら、次年度に結び付く活動を進める必要があると考えています。どうか、皆様のご支援をお願い申し上げます。

令和3年新春の門出にあたり、皆様のご多幸を心からお祈り申し上げ、新春のご挨拶とさせていただきます。

## 新年のご挨拶

朝陽支所長 清澤 清

朝陽地区の皆様、明けましておめでとうございます。お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃は、朝陽地区住民自治協議会関係者をはじめ地区の皆様には、朝陽地区的行政運営にご理解、ご協力を賜り心から厚くお礼申し上げます。

さて昨年は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、社会、経済そして人々の生活は大きな影響を受けました。朝陽地区的地域活動もコロナ禍による影響を受け、地域の様々な取組(福祉・環境・公民館などの活動、会議、イベント等)が中止や縮小を余儀なくされました。

このような中、昨年6月、朝陽地区住自協主催の「水害防止対策研修会」では、感染症対策としてWeb会議システムの「Zoom」を活用し、Webと会議室の同時研修を行い、大勢の皆様にご参加いただきました。この研修会は、今後の地域の会議や研修会等の在り方を考える機会になったのではないかと思います。

一刻も早い新型コロナウイルス感染症の収束と社会経済の再生を祈念しつつ、これから会議等の在り方にについて、皆様と一緒に考えてまいりたいと思います。また、本年も地域の活動に参画・支援してまいりますので、朝陽支所職員一同よろしくお願い申し上げます。

本年が、朝陽地区的皆様お一人お一人にとって、明るく輝ける年になりますようお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

## 朝陽地区住民自治協議会

(事務局) 長野市北尾張部226-9  
電話・fax 026-219-1068  
ホームページ <http://asahi-jk.jp>

朝陽地区人口: 15,123人 (-7) 6,375世帯 (-9)

=2020年12月1日現在。 ( ) 内は同年前月比

(内訳) 南屋島 829人 (0)	北屋島 503人 (-7)	北長池 2,649人 (-5)
北尾張部 2,377人 (-11)	石渡 2,616人 (+16)	南堀 2,705人 (+4)
北堀 2,622人 (+2)	桜新町 822人 (-6)	

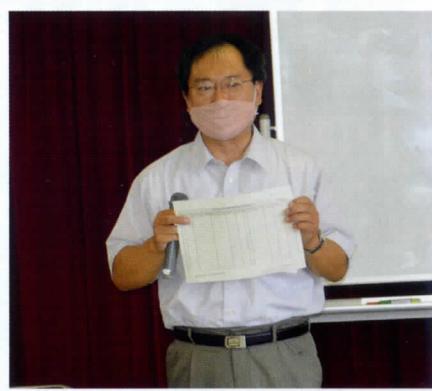
## デジタル化した防災行政無線で操作訓練

8月18日、安全・防災部会及び自主防災会議連絡協議会による「防災行政無線」操作訓練が、南屋島公民館で行われ、防災関係者31名が参加しました。まず、会議室で長野市総務部危機管理防災課の池垣課長補佐より「防災行政無線」のデジタル化電気工事の概要と個別操作・通信方法の説明を受けました。その後、屋外の防災行政無線施設に移動し、電子サイレン、チャイム及びマイクの操作方法を訓練・体験しました。また市では、令和元年から防災行政無線設備を、より確実に情報を広範囲に伝えることができるよう、更新に併せてデジタル化の整備を進めており、朝陽地区は既に6基の屋外スピーカー設備が設置され、あと3基が設置されます。



## 避難行動要支援者支援対策等～防災講座から～

9月11日、防災講座「避難行動要支援者の避難支援」が朝陽支所2階集会室で32名が参加して開催されました。長野市保健福祉部福祉政策課課長補佐松本勇氏により、平成26年7月策定の「避難行動要支援者避難支援プラン」に基づき ①講義の目的として、「互助・共助」が、災害による被害を小さくする大きな力になる。この「互助・共助」の大きな手である自主防災組織の皆さんに理解を深めていただくこと ②避難行動要支援者支援として、「要支援者名簿」の作成義務、同意を得て平常時から消防機関や民生委員に情報提供、守秘義務など ③災害時の避難行動に支援が必要な人として、要支援者・要配慮者でも家族の支援や自分で行える人など支援不要な場合があること ④福祉避難所の定義、ポイント及び課題など 講話いただきました。



## 平和を願う、朝陽地区戦没者等追悼式

9月22日に戦没者、開拓犠牲者及び自治功労物故者の遺族並びに住民自治協議会などの関係者31名が参列し、朝陽地区戦没者等追悼式が朝陽支所2階集会室で行われました。式典は、参列者全員の黙祷から始まり、住民自治協議会会長の挨拶その後長野市遺族会横田久会長、住民自治協議会栗原満会長及び朝陽地区遺族会長田健治会長の3氏から追悼の言葉がありました。横田会長からは「…私たち遺族はご英靈の皆様の更なる顕彰に務め、皆様方のご遺志に応えるために皆が豊かで幸せな生活が享受できるよう、努力してまいりますことをここに堅くお誓い申し上げます…」と追悼の言葉がありました。最後に参列者全員で献花し、閉式になりました。



## 生ごみの減量化に向けて～生ごみ自家処理実践講座～

生ごみ自家処理実践講座が、9月25日に朝陽支所2階集会室で開催されました。開講にあたり、長野市生活環境課下条氏からごみ、資源物のリサイクルについての説明がありました。その中で、可燃ごみは、生ごみや食品ロスが約4割弱を占めている。生ごみを減らせば可燃ごみが低減される事からこの講座に繋がっている、との話がありました。実践講座では、長野市の生ごみ現状アドバイザー渡辺秀子氏から段ボール箱で、微生物が有機物を分解する働きを利用した堆肥づくりの説明があり、その後、基材や生ごみを入れる箱づくりを体験しました。悪臭を出さずにゴミを分解せんには、生ごみを濡らさない、適当な湿り気と通気で好気性微生物が活躍できる環境を整えることが重要とのことでした。



## 南堀の自主防災訓練

6月21日に予定した春の自主防災訓練はコロナ禍のため情報伝達訓練のみとなりました。防災訓練に代わるものとして10月11日に「自主防災講習会」を信州大学附属長野中学校の体育館にて行いました。長野市政出前講座の講師は長野市危機管理防災課主幹兼課長補佐、神保伸希氏でした。丁度一年前の10月12日に千曲川決壊災害がありました。各戸に配布されたハザードマップを持参して、組長以上の役員、横断的支援グループの班員を含め73名が出席しました。ハザードマップで自分たちの住んで居る南堀の場所を特定しながら、図解の見方、市区町村から出される避難情報（警戒レベルの1～5）の避難対処の仕方などを学びました。最後に台風が発生して災害が起きる3日前からの『マイタイムライン』を配布された資料に基づきチェックシートを貼る作業をやってみました。最後に質問意見として「避難所を増やせないか」「防災無線の音が小さくて機能しなかった」などの意見が出されました。また午後には公民館で役員（18名）のみが参加して鶴賀消防署、東部分署の署員4名の方に参加して戴き公民館の建物に備えてある防災器具（非常警報装置・消火器・誘導灯・避難ロープ）の点検、消防署への119番通報訓練、避難訓練などを行いました。



## 朝陽地区青少年健全育成推進大会

10月17日に朝陽地区青少年健全育成推進大会が朝陽支所2階の集会室で開催され、朝陽小学校の小林校長先生及び中村教頭先生から「『笑顔の輪』をつなげる、広げる」～コロナ禍における学校の取り組み～と題し、講話をいただきました。4月6日の入学式後、一週間で臨時休業となり、家庭と学校との連絡を工夫し、下駄箱ポストを設けたこと。分散登校での子どもの様子。一斉登校後の授業、校外活動、社会見学や地域の皆さんの協力を得た体験学習の様子及び子ども達と体育館工事現場の方々とのほほ笑ましい交流などを紹介されました。また、笑顔の合言葉“輝く笑顔、共に伸び行くあさひっこ”を子ども達に伝え、素敵な笑顔がいつも輝いてほしい、友だちと共に、先生と共に、家族と共に、地域と共に成長してほしい、との願いから、各教室に掲示し、子ども達の声、保護者の声を学校通信“笑顔”に掲載したこと。などお話をいただきました。



## 介護予防教室～健康寿命をのばしていきいきと暮らそう～

10月23日に北堀公会堂で長野市地域包括支援センター主催の「介護予防教室」が開催され、雨の中でしたが19名が参加しました。コンフォート岡田から理学療法士の小林宏章先生と岡田貴明先生をお招きし、座学と運動を取り入れた90分間でした。最近よく耳にする「フレイル」の説明から教室はスタート。健康と介護が必要な状態の中間点を意味する言葉で、予防のためには「動く、食べる、つながる」の3つがポイントと説明がありました。次は健康長寿を維持するために大切なのは運動について。まずは60秒間の片足立ちの体力チェック。「きついなあ」「グラグラする」という声がチラホラと聞こえてきました。続いて①スクワット②かかと上げ③フロントラウンジの代表的な筋力トレーニング、後半は、膝伸ばし、ストレッチ4種類などを行い、深呼吸で会は終了しました。コロナ禍が長期化する中でも、積極的に運動を生活に取り入れていきましょう。



## 朝陽公民館主催の2020「お届け芸術館」

11月5日に長野市芸術館の協力による長野市出身の汐入規予さんの「弾き語りコンサート」が朝陽公民館の体育館で開かれました。演奏者の汐入さんは、「コロナ禍のためにリモート演奏ばかりで、こうして会場のお客さんの顔を間近に見て生演奏と歌を披露する機会がなくなってしまいましたが、この様な中でステージに立つことが出来て嬉しい」と語っていました。演奏された曲は良く知られているシャンソンの「枯葉」など6曲を演奏され発表曲の合間に发声の仕方なども指導されました。最後の曲「オーシャンゼリーゼ」の演奏後に、アンコールの拍手に応えて「故郷」を参加者も一緒に合唱しました。音楽の好きな人が近隣の三輪、吉田、大豆島、古里地区からも駆けつけて参加者は56名でした。芸術の秋に相応しいコンサートでした。



## 北長池 人権問題研修会

11月6日に北長池公会堂2階にて、人権問題研修会が行われました。本年度はコロナ禍ということもあり、公民館行事が軒並み中止となる中で開催自体も危ぶまれましたが、参加人数を減らしての開催となりました。全国的に問題となっている新型コロナウィルスに関わる差別・人権侵害などについて、実例を基に、何故その様な事が起こってしまうのかを深く考えさせられる機会となりました。より多くの区民の皆様にこのような機会をもって頂けると共に、一刻も早く新型コロナウィルスが収束してもらいたいと感じました。



## ながの未来トーク

11月7日に加藤市長、市役所の幹部職員を招いて朝陽地区ながの未来トークを開催しました。テーマは3つ。1つ目は総合市民センターの早期建設要望です。本館、分室に分かれている朝陽公民館を統合（早期建設）する要望ですが、市では令和3年度からの10年計画を策定中で、前半の5年間は豊野・長沼地区復旧を優先するが、後半の早い段階で実現したい意向を示していただきました。2つ目は水害対策です。長野東バイパス開通に伴う水害への影響や交通量増加への懸念ですが、令和3～4年度にかけて北屋島で雨水を排除する地下水路の整備を予定し、また雨水調整池の検討を進めて浸水不安の解消に努めるとの回答でした。また交通量が生活道路に影響ある場合は地元の意見を聞き適切に対処することでした。最後の3つ目は太陽光発電への規制強化です。現在、長野市太陽光発電設備の設置と地域環境との調和に関する条例を策定中で、より住民に寄り添った活動をすることでした。



## ウォークラリー開催 北堀

10月11日の朝9時から「きたほりウォークラリー」が開催されました。気温は20℃の曇り空。歩くにはちょうど良い環境の中、約180名が参加しました。新型コロナウィルスの影響で運動会が中止となり、代わりとして実施した今回のイベント。参加者はマスク着用、事前の検温、消毒液の設置など、ウィルス対策も万全に行われました。受付で発行するスタンプカードを持参し、北堀地区内で7つ設けたチェックポイントでハンコを押してもらいます。7常会のご夫婦は約30分で7ポイントを完歩。「自分の住んでいる所を、ゆっくり歩くことがないので、このような機会があって良かったです。運動会は中止になりましたが、楽しめるイベントに参加できて感謝です」とのこと。さわやかな秋の一日となりました。



## 榎井泉神社の本祭り 南堀



今年の榎井泉神社の宵祭りは新型コロナウィルスの感染拡大を危惧して、区内全域の神樂巡回や新築されたお宅はじめ役員のお宅での獅子舞は全て中止となりました。しかしながら、神樂奉納は疫病退散、無病息災、五穀豊穣を祈る大切な儀式としての伝統を絶やす訳にはいきません。その様な思いにより9月27日の本祭りは出席者を役員のみに絞って神事（宮司による祝詞奏上、玉串挙げ）が行われました。その後、社殿にて獅子舞（本舞）の奉納がされました。なお今年から神樂保存会長のご尽力により社殿にて行われた奉納獅子舞の様子を石渡神樂保存会に次いでインターネットを通して見られるようになりました。ユーチューブチャンネルを開いて「南堀神樂保存会」で検索すればいつでもどなたでも視聴できるようになりました。

## 初開催の文化祭 桜新町

10月18日、桜新町主催で初開催となる文化祭が行われ、このコロナ禍のなかで多くの人が参加していました。日本人形の展示や映画鑑賞、楽器演奏や踊りなど様々なレクレーションが行われ多くの人が楽しむ姿がみられました。秋晴れの中、屋外で行われた「すていーるばんだ」さんのスティールパン演奏や「ロケラニ」さんのフラダンスも実に好評で、迫力があってみんな見入っていました。今年から人と接する機会が減っていき、各地域のイベントなどが中止になっていくなかで行われた文化祭は桜新町をおおいに盛り上げてくれて、みんなの笑顔が明るくしてくれました。



## コロナ禍での防災訓練 北尾張部



コロナ禍で多くのイベントが中止になる中で、北尾張部では栗原区長が苦労して三密を避ける工夫を検討した結果、防災訓練を9月5日に実施できました。毎年、盲学校のグラウンドに関係者180名前後が集合して行っていた訓練を、今年は集合する人数を20名程度に抑えました。残りの関係者には電話やメールでの情報伝達訓練を行うことに留めて密を避けました。また部会長・執行委員・福祉推進員の合計約25名は、各部会の緊急避難集合場所にそれぞれ集まり、手分けして自部会の消火栓等の確認や避難行動要支援者のお住まいの確認をして回りましたが、確認結果は電話やメールで報告することで密を避け、現地解散としました。例年とは大きくスタイルを変えて行った防災訓練ですが、改めて防災の大切さを強く意識する機会となりました。

## 元気はつらつクラブに新たな体操! 石渡

石渡はつらつクラブは、毎週月曜日に石渡公民館において、朝陽てのひら体操や長野市のはつらつ体操を行っていますが、11月2日から信濃の国をダンスバージョンにアレンジした曲に、西脇かおるさんが振り付けした新しい体操を組み入れました。椅子に腰掛けて行うのですが、かなり速いテンポで足を動かすハードな体操で、最初は汗ただくだだった様です。唄いながらリズムで足を動かすので脳トレにもなり、初めは体の動きを覚えるに何回か練習が必要かも知れませんが、気分が明るくなる様な曲調で、皆さん笑顔で楽しく体操にいそしんでいました。



## 歩道橋清掃 北長池



10月8日はコロナ禍がなければ、北長池の運動会が開催される予定でしたが中止になりました。何か北長池でできることかと公民館役員で話し合い、学童が毎日通学する歩道橋の清掃を行いました。長年に渡り通行することで付いた傷みや汚れを、役員が手分けをして清掃しました。階段、手摺りを丹念に清掃することで、これからも気持ちよく、そして安全に通行できるように願いました。破損箇所は長野市へ修理の依頼をお願いしました。これからも大切に通行したいと思います。

## 平時の安らぎ～秋祭りと文化祭 北屋島

北屋島伊勢社秋祭りが10月10、11日に、2日目には公民館主催の第44回北屋島文化祭が北屋島公会堂にて同時開催されました。昨年は台風19号災害のため共に中止となり、今年もコロナ禍のため中止も検討されましたが、氏子総代と神楽保存会、公民館の尽力により開催の運びとなりました。秋祭りは子供神輿の中止や神楽奉納も公会堂と伊勢社および区長宅のみの奉納と規模を縮小しましたが、久しぶりに太鼓や笛の音が区内に響き、平時の安らぎを感じることができました。文化祭では、生花、盆栽、地域の風景を描写した絵画や写真、書、紙粘土人形や押花額縁などの手芸作品、小学生の自由研究、北屋島の明治時代の歴史を区民の丸山剛さんが調査しまとめた資料などの展示があり、多くの区民が訪れて久しぶりの区民交流の場となりました。



## 獅子舞奉納される 南屋島



10月11日、皇太神社の秋の例祭にあわせて神楽（以下「獅子舞」）が奉納されました。当初は「新型コロナ感染拡大防止」の観点から中止も検討されましたが、神楽保存会（以下「（獅子方」）の有志から、獅子舞の奉納は「地域の安全」・「実りに対する感謝」のほか「疫病の退散」も祈念するものであること、昨年は台風災害で中止した経緯もあり今年は是非奉納したいとの申出があり、実施となりました。なお奉納に関して「三密」状態が発生するとの懸念から、区民への周知は行いませんでした。当日は千曲川河川敷にある「権現様」前で神事の後、獅子方による獅子舞が奉納されました。その後、皇太神社に移動し獅子舞が奉納され、祭事が執り行われました。獅子舞の奉納により現在の悪魔「新型コロナウィルス」退散の効果に期待したいと思います。改めて「感染予防」の徹底をみなさんへ継続していただくよう願っています。また、獅子方から新規入会者の募集をお願いされたことを申し添えます。

## 『朝陽ライズ』が北信越大会に出場!

前号でも紹介した少女ソフトボールチーム『朝陽ライズ』が長野県代表として北信越大会に出場したのでご紹介します。出場したのは第33回北信越小学生女子ソフトボール大会で、長野、新潟、富山、石川、福井の各県から12チームが集い、10月10日に福井県で開催されました。初戦は、石川県の森本アップルベリークラブ。手に汗握る投手戦で、最後までどちらが勝つかわかりませんでしたが、0対2で惜敗てしまいました。でも本大会で優勝したのは相手チームです。優勝チームとほぼ互角に戦った朝陽ライズの健闘が光ります。今井剛監督を中心に良い選手を育ててくれた結果だと思います。その朝陽ライズには6年生が5人います。投手の睦谷さん、捕手でキャプテンの菊池さん、一塁手の茂木さん、遊撃手の越さん、中堅手の高橋さんです。この中からオリンピックで活躍する選手が出てきて欲しいですね。



## あさひ大学講座(地域再発見)

朝陽公民館主催の「あさひ大学講座・地域再発見」が10月13日に開講されました。今年は南堀～石渡地区を「ふるさと朝陽を学ぶ会」が作成した「朝陽地区歴史探訪」の資料を片手に史跡めぐりをしました。最初に南堀の長命寺(浄土真宗本願寺派)の本堂で「長命寺縁起」のスライドを見ながら西敬寺の木壳住職の解説を聴きました。長命寺を開基したのは親鸞聖人24輩第七番の西念坊道裕(みちすけ)です。この西念坊が武藏の国(現茨城県)足立郡野田に一寺を建立したのが、長命寺の始まりです。長命寺は開基以来806年の歴史があり現在の住職は24代です。現在の建物は160年前に全て秋山郷の材木を使って建てたとのことです。その後、南堀館跡、楳井泉神社、金丸氏先祖靈神を見て石渡へ移動しました。石渡のハ幡神社には一茶が亡くなる数か月前に奉納した俳額があります。次に興隆山常岩寺(金箱の曹洞宗信叟寺の末寺で本尊は釈迦如来です)。最後に延命山地蔵寺(信州新町曹洞宗清水寺の末寺)裏の十王地蔵菩薩像を見た後、川べりに建てられた庚申塔(明暦3年造立)を見学しました。



## ながの環境エネルギーセンター視察研修

11月12日、環境美化部会による「ながの環境エネルギーセンター」などへの視察研修が行われ、19名が参加しました。ながの環境エネルギーセンターは、長野市広域連合の可燃ごみの焼却施設で、19年12月に長野市松岡に整備されました。運転は自動化され、発生するエネルギーは、公共施設やサンマリーンながのへ提供し、灰は溶融し、資源として再利用しているとのこと。次の長野市資源再生センターは、不燃物から鉄やアルミの資源を取り出して、資源はリサイクル工場へ送られます。プラの中に包丁や石などの異物が混入されているなど、分別は決められた方法で確実に行って欲しい旨、市の方が話されていました。



年賀状の作成  
町内会の資料作成  
本・自叙伝の出版  
無料体験入学  
受付中!

60歳からのたのしい  
パソコン教室  
みっぷす



女性講師との  
楽しい授業

完全個別指導塾  
**学研スクール**  
学校の授業がもっとよくわかる!!  
学研の個別指導塾  
尾張部教室 TEL(026)256-9131 長野市北尾張部385

対象: 小学生、中学生、高校生  
教科: 国語、算数、数学  
英語、理科、社会

学校法人  
理知の杜 松本国際高等学校

通信制長野学習センター

長野市北尾張部385 赤沼ビル 1F B ☎ 026-243-1379

●家具オフィスプランニング ●OA・IT ●文具サプライ



株式会社

丸

陽

本社・営業部/〒386-0012 上田市中央2-5-10  
長野支店/〒381-2206 長野市青木島町網島490-5  
TEL 0268-22-2400 FAX 0268-27-8787  
TEL 026-283-1108 FAX 026-283-8108